

演題

神道と武士道

信心深い、あるいは宗教的感受性が豊かであるというのは、おそらく世界の戦闘者に共通のありかたである。もちろんそれは、彼らの生活が常に死と直面していること、勝敗がしばしば人間の力を超えた運命と感じられることなどからくるものであろう。日本の武士もまた、先祖の霊や軍神に武運長久を祈り、戦死者の霊魂には手厚い祭りを怠らなかった。武士たちの信仰心の深さは、彼らの憲法ともいえる『御成敗式目』の第1条、第2条に端的に表明されている。

日本の戦闘者である「武士」は、神道、念仏、密教の加持祈祷、易占、陰陽道など、さまざまな宗教的信仰、儀礼をとり入れてきた。本講では、キリスト教世界及びイスラム世界の戦闘者のあり方と比較しながら、特に武士の起源に深く関わっている神道に注目し、日本の武人が、何を守り、何を理想として戦ってきたのかを紹介していきたい。

講師

皇學館大学教授

かんのかくみょう
菅野覚明 先生

プロフィール

昭和31(1956)年、東京生まれ。昭和54(1979)年、東京大学文学部倫理学科卒業。昭和60(1985)年、同大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。東京大学教授を経て、現在東京大学名誉教授、皇學館大学文学部神道学科教授。専攻は、倫理学・日本倫理思想史。

主な著書は、『本居宣長』(ペリかん社)、『神道の逆襲』(講談社現代新書、サントリー学芸賞受賞)、『よみがえる武士道』(PHP研究所)、『武士道の逆襲』(講談社現代新書)、『日本の元徳』(日本武道館)、『武士道に学ぶ』(日本武道館)、『女子の心得』(PHP研究所)、『詩と国家』(勁草書房)、『吉本隆明』(講談社)、共著に、『新校訂・全訳注葉隠』(上)(講談社学術文庫)、『宗教の倫理学』(丸善)、高等学校公民教科書『新倫理』(清水書院)、『新校訂全訳注 葉隠』(講談社学術文庫)など。



日時

平成30年6月30日(土)

午後2時～4時(開場:午後1時)

会場

靖国会館 2階 偕行東

東京都千代田区九段北3-1-1(靖國神社内)

参加費 1,000円

どなたでも御来聴を歓迎しますが、先着100名まで。
但し、予約できます。学生は無料。

主催・お問い合わせ先

一般財団法人

日本学協会

〒166-0002

東京都杉並区高円寺北1-12-19

TEL.03-3386-0422 FAX.03-3385-0970

Eメール: nihongakukyokai@jcom.home.ne.jp

http://www.nihongakukyokai.or.jp/